長崎市立村松小学校
学校だより

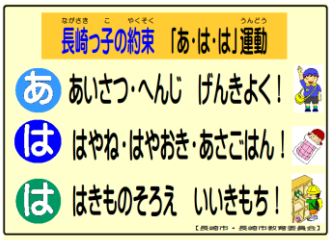
子ども・保護者・地域・職員、みんなが自慢できる温かい学校づくり

たくましい村松っ子

１１月の生活目標：あとしまつ名人になろう

令和８年１０月３０日　第１３号
文 責：校 長　日髙　文博

「人との関わり」を通して



朝晩はだいぶ冷え込み、季節が進んできました。先日テレビで日光・竜頭の滝の見事な紅葉を目にしましたが、本校の校庭の木々も色づき始め、まもなく私たちの目を楽しませてくれそうです。

さて、秋は、小体会や小音会、校外学習、宿泊学習、PTA 主催の村松っ子感謝祭など、学校内外で「人と関わる活動」が多く行われる季節です。クラスの友達と過ごすことは日常の当たり前ですが、こうした行事では、異学年や他校の児童、地域の方々や大人とも関わることになります。

私たちは一人で生きているわけではありません。いつも誰かと関わりながら、日々の生活を送っています。だからこそ、自分の「わがまま」や「独りよがり」は通用せず、ルールやマナーを守ることが大切です。残念ながらニュース等でマナー違反をする大人を見かけることもありますが、本校の子どもたちには、豊かな心を育んでほしいと願っています。

学校の道徳の授業では、主として「人とのかかわりに関すること（親切、思いやり、感謝、礼儀、友情・信頼、相互理解・寛容など）」について、低学年から高学年、そして中学校へと発達段階に応じて系統立てて学んでいます（次の表参照）。またそれと同時に、「集団や社会との関わりに関すること（規則の尊重や公正・公平など）」も同じように大切になってきます。

１・２年	３・４年	５・６年	（参考）中学校
(1)親切、思いやり (2)感謝 (3)礼儀 (4)友情、信頼	(1)親切、思いやり (2)感謝 (3)礼儀 (4)友情、信頼 (5)相互理解、寛容	(1)親切、思いやり (2)感謝 (3)礼儀 (4)友情、信頼 (5)相互理解、寛容	(1)思いやり、感謝 (2)礼儀 (3)友情、信頼 (4)相互理解、寛容

こうした道徳の授業や、日々の教育活動全体を通して、子どもたちの道徳的な心情や態度を養うのが道徳教育の目標です。行事や宿泊学習などの「人と関わる活動」は、こうした道徳の学びを実際に生かし、深める貴重な実践の場となります。今後も多くの教育活動を通して、子どもたちの健やかな心の育成を推進してまいります。

２年生まちたんけん

１０月６日（火）と１５日（木）に２年生が生活科の学習で町たんけんに出かけました。学校に近いお店や駐在所、郵便局など２クラスで２２か所の店や施設を訪れ、使う人のために工夫していることやいいところなどを見つけました。グループで協力して、学びの多い楽しい学習となりました。

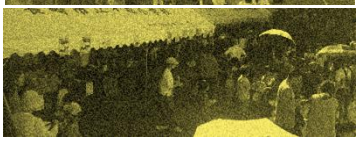




村松っ子感謝祭







１０月１８日（日）は、PTA 主催「村松っ子感謝祭」が開催されました。PTA の役員と係の皆様、みんなの会の皆様、育成協・自治会の皆様方には、計画段階から当日の運営まで大変お世話になりました。また協賛として、まちづくり協議会、子どもを守るネットワーク、ペーロン北部の皆様にもお手伝いいただきました。ありがとうございました。

当日は天候にも恵まれ、大勢の子どもたちが集まり、にしうみ太鼓と明誠高校ブラスバンド部の演奏、スペースユニオンのダンス発表、ゲームコーナー、体験コーナー、屋台コーナーなど盛り沢山の内容にみんな楽しめていたようでした。大人と子どもが笑顔で関わることのできる貴重な時間を過ごせた素敵なお祭りでした。

第２回避難訓練

１０月２１日（水）に第２回避難訓練を行いました。今回は不審者避難訓練を実施し、不審者侵入の際の合図や放送を聞き、状況を把握する態度を養えるよう、本番に近い形で訓練を行いました。多少、あわてたり、話し声が聞こえたりと反省する場面もありましたが、スムーズに避難したり、安全を確保したりと、自分たちで考えて避難できるよう真剣に取り組みました。

※画像は個人が特定されないように処理しています。